

平成30年4月6日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年3月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成30年3月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 29 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	458	412	521	469	488	449	404	489	539	483	482	607
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853
外国為替取引口座数 (単位:口座)	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378
一般顧客	49,392	49,446	49,784	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367
金融法人 (B to B)	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010
マネバカード口座数 (単位:口座)	(非開示)		73,733	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964

年 月	平成 30 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	552	499	562									
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	142,982	164,784	129,679									
外国為替取引口座数 (単位:口座)	311,645	313,167	314,547									
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,789	62,309	61,758									
一般顧客	57,073	57,628	56,966									
金融法人 (B to B)	5,716	4,680	4,792									
マネバカード口座数 (単位:口座)	116,830	119,853	122,719									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 3月次の概況 >

3月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝106円台半ばで取引が始まり、1日にトランプ大統領が鉄鋼・アルミニウムへの関税賦課の計画を明らかにしたことを受けて、貿易戦争への発展の懸念からリスク回避のドル売り円買いが進展し一時105円台前半をつけました。しかし、翌週には北朝鮮をめぐる緊張の緩和や米国関税問題においてカナダ・メキシコをはじめとして例外措置が設けられる可能性があるとの報道等からドルは買い戻され、9日には一時107円台前半をつけました。その後も、米国関税問題をテーマに105円台後半から107円台前半のレンジで推移しましたが、19日の週に入り、トランプ大統領が中国に対して大規模な関税賦課を命じると、中国は報復関税を検討するなど貿易戦争の様相を呈する事態となったことから再びドル売り円買いが進み、23日には一時104円台半ばをつけました。その後、米中の交渉による全面衝突回避への見方が広がるとドルは買い戻され、106円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル／円の動きにつれて概ね同様の動きで推移し、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、前月を下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月比21%減少の1,296億通貨単位となりました。一方、前月低下した外国為替取引の取引高当たり収益性の回復等の結果、営業収益は562百万円と前月比12%の増加となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,380口座増加の314,457口座、マネパカード口座数は前月比2,866口座増加の122,719口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、円高局面での顧客ポジションの減少等を受けて前月比550百万円減少の61,758百万円となりました。

以 上